

令和7年度荒川区議会定例会・11月会議

一般質問通告一覧

質問通告者	質 問 項 目 ( 要 旨 )
若林 由季 60分 自民党	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生ごみ対策の取組ならびに街中へコンポスト設置検討について</li> <li>2 「若年層から高齢前世代まで、切れ目のない聴覚支援の構築に向けて」 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) イヤホン難聴防止と若年層の聴覚健康を守る為の周知啓発について</li> <li>(2) 難聴者への配慮と支援について</li> <li>(3) 18歳～64歳まで補聴器購入支援について</li> </ol> </li> <li>3 荒川区における「重層的支援体制整備事業」について</li> <li>4 複合的な室内遊び場について</li> <li>5 工事中の安全確保とほこみち制度を見据えた駅前空間の賑わい創出 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 331号線の工事中の安全対策について</li> <li>(2) 南千住駅前中道区道の賑わいについて</li> <li>(3) ほこみち制度の導入・活用による荒川区のさらなる賑わい創出</li> </ol> </li> </ol>
松田 智子 25分 公明党	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 区立の小中学校における英語教育の充実</li> <li>2 自動運転バス運行の実証実験の実施</li> <li>3 子育て環境の充実について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育士不足解消のための「潜在保育士」の調査、研修、採用について</li> <li>(2) 各ふれあい館の子育て相談体制の充実</li> </ol> </li> </ol>
山本 剛 25分 ゆいの会（都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 区長就任1年の総括と来年度予算編成への決意について</li> <li>2 人権側面からの税制の改善要望（年少扶養控除の復活と軽自動車税の障害者への減免）</li> <li>3 国民健康保険について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保険料水準の統一と収納率の問題 統一後に各自治体が収納率を上げるインセンティブが働くよう区が都へ要望することへの見解を問う。</li> <li>(2) 外国人の未納付を防ぐ対策 納付に応じない方の在留資格を原則変更・更新不可とする国の仕組が準備されているが、現在、荒川区が実施している仕組との違いや、国の仕組の採用意向を問う。</li> <li>(3) 保険料率及び賦課限度額の負担増抑制について 中間所得者の保険料率、高所得者の賦課限度額がともに上がらない設計の手法を問う。</li> </ol> </li> <li>4 あらかわ遊園の賑わいと運営方針について 往來の向上と周辺環境への配慮、さらなるイベントの実施について問う。</li> <li>5 区の桜の植え替えについて 桜の生育環境を考え、通行に危険な根上がり起きないような品種替えや、他の樹種への切替など、区の方針を問う。</li> </ol>

質問通告者	質 問 項 目 ( 要 旨 )
<p>横山 幸次 25分 共産党</p>	<p>1 2026年度予算編成における物価高騰対策・区内産業振興、暮らし応援など</p> <p>(1) 区独自(重点支援地方交付金の活用も含め)の緊急物価高騰対策を実施すること。</p> <p>(2) 区内産業振興の観点からも消費税とインボイス制度の影響について区として実態をつかむとともに、インボイス登録事業者への支援策を検討実施すること。</p> <p>(3) 公契約条例制定と並行して、区内中小企業の賃金引き上げに対する支援(賃上げ奨励金など)を検討、予算化すること。</p> <p>(4) 公契約条例の制定に合わせて、区の産業振興基本条例と計画の対象に建設業、福祉産業なども入れた計画に見直すこと。</p> <p>(5) 低所得者でも新基準のエアコンが購入できる制度にエコ助成を拡充すること。</p> <p>(6) エコ助成の拡充と断熱改修を組み込んだ住宅リフォームの助成制度を創設すること。</p> <p>2 学校、庁舎などの改修・建て替えについては、公共施設等総合管理計画全体の見直しを行うとともに、小中学校の整備を最優先にして進めること。</p> <p>3 地域公共交通計画の策定について</p> <p>(1) 地域公共交通計画策定の必要性について区の認識を問う。</p> <p>(2) 基本構想、都市計画マスタープランの改定待ちにならず、地域公共交通、移動に関わる住民のニーズ調査を実施すること。また計画の調査、検討においては、コミュニティバスを除外せず、あらゆる可能な移動手段を検討対象にすること。</p>
<p>土橋 圭子 60分 自民党</p>	<p>1 荒川区のブランディングについて</p> <p>(1) 地域ブランディングと魅力発信について</p> <p>(2) 日暮里地域の賑わいの創生と活性化について</p> <p>(3) 都電沿線へのバラ植栽の充実について</p> <p>(4) LINEを活用した情報発信の強化について</p> <p>2 西日暮里地区及び三河島北地区の再開発について</p> <p>(1) サステナブルな波及効果の創出について</p> <p>(2) 転売対策について</p> <p>(3) 三河島北地区の地域の要望について</p> <p>(4) 文化交流施設について</p> <p>3 小中一貫教育と教育の機会均等について</p> <p>4 ごみ減量のためのリユースの促進について</p>
<p>保坂 正仁 25分 公明党</p>	<p>1 荒川区の魅力発信について</p> <p>(1) 魅力発信の方向性</p> <p>(2) 次世代による荒川区の魅力発信</p>

質問通告者	質 問 項 目 ( 要 旨 )
	<p>(3) プロジェクションマッピングの実施</p> <p>2 環境問題について</p> <p>(1) 企業との連携による環境問題への取り組み</p> <p>(2) 企業の協賛の元、環境へ配慮したゴミ袋の作成</p> <p>3 高齢者の終活について</p> <p>(1) 伴走型の家じまいの手伝い</p> <p>(2) アンケート調査の実施</p> <p>(3) 相談窓口体制の拡充</p>
<p>花澤 昭信 25分 ゆいの会（都民ファースト・国民民主・あたらしい党・無所属）</p>	<p>1 スポーツを通じた多分野連携の推進について</p> <p>(1) スポーツによる地域経済の活性化と健康経営の推進</p> <p>(2) 健康アプリ「あらチャレ」によるウェルビーイングの実現</p> <p>(3) 学校体育館の戦略的利活用と施設予約のデジタル化</p> <p>(4) 子育て支援と連携した公平なスポーツ機会の提供</p> <p>(5) 障害者スポーツによる相互理解と共生環境の構築</p> <p>(6) 次期スポーツ推進プランの戦略的改定と推進体制の構築</p> <p>①スポーツ推進プランの改定について</p> <p>②活動基盤の持続的な確保に向けた戦略について</p> <p>③分野横断的な推進体制の構築について</p>
<p>相馬 ゆうこ 25分 共産党</p>	<p>1 学校建替え計画は子ども第一の計画に見直しを</p> <p>(1) 現在の計画について、財政負担の推計など区民や議会が必要とする情報を公開すること</p> <p>(2) 統廃合、小中一貫校新設については、区民にも議会にも開かれた議論の場をつくり、合意形成なしにすすめないこと。最低限、吸収・合併は行わないこと</p> <p>(3) 建替えにあたって少人数教育の担保を図り、その提案を行うこと</p> <p>(4) 代替校舎は最低限、地区内に確保する計画とすること</p> <p>2 こどもの遊び場や体験の充実</p> <p>(1) 区として、小学生も遊べる子どもの屋内遊び場の設置を</p> <p>(2) 当面、ふれあい館など区内施設を活用し、隔週でもいいので日曜や休日もこどもの遊び場として事業を行うこと、そのための事業者への支援を</p> <p>(3) 南千住の汐入地域や日暮里地域から、あらかわ遊園へのアクセス改善を</p> <p>(4) あらかわ遊園のこどもの入園料は常時無料にすること</p> <p>(5) 足立区が行っている夏休み中の子どもの体験や居場所の充実のための取り組みを、荒川区でも行うこと</p> <p>3 汐入地域の交通不便解消を</p> <p>(1) 区から都交通局に対し雨の日の増便や連節バスの導入など〔上 46〕の混雑解消、定時運行を求めること</p>

質問通告者	質 問 項 目 ( 要 旨 )
	(2) 汐入地域の区民の交通不便解消に向けた取り組みを行うこと (3) 都市計画道路補助331号線が開通した際には、さくらバスを南千住駅東口まで延伸すること
菊地 秀信 25分 公明党	1 学校施設建て替え計画(案)について (1) バス通学に関わる運転手確保、乗降場所、安全管理の具体的な検討状況はどうか。 (2) 代替地について、教育委員会所管施設以外の公共施設も検討対象とする考えはあるか。 (3) 小規模校の特色を活かした多様な学びの保障を、計画にどのように反映するのか。 2 多文化共生社会について (1) 外国人区民が主体的に参加する多文化共生イベントを、来年度どのように反映していくのか。 (2) スポーツ施設など日常の場における異文化摩擦の課題について、啓発・理解促進の仕組みをどのように構築するのか。 (3) 荒川の多文化の歴史や背景を学ぶ講演会等を、来年度に実施する考えはあるか。 3 都の財源活用について (1) 「町会・マンション みんなで防災訓練」について、区として積極的な周知・申請支援を強化する考えはあるか。 (2) 国や都の財源活用を組織的に推進する体制について、現状の課題認識と今後の方向性をどのように考えているか。
増田 峰子 25分 公明党	1 子育て支援について (1) 「子ども食堂」「居場所づくり」の支援の拡充 (2) ヤングケアラー当事者が安心して語り合える場の創出 2 高齢者のデジタル支援について (1) 区、独自予算によるスマートフォン購入費支援 (2) スマートフォン購入費用助成事業の継続実施 (3) スマートフォンサポート事業の拡充 3 (仮称)天王公園における屋根付き運動場の設置について